

令和2年度 第1回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日時 令和2年8月7日（金） 午後6時00分から午後7時30分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 神谷 典江・・・（特非）穂の国まちづくりネットワーク代表理事
委員 神保 陽香・・・豊川市青年団協議会常任理事
委員 河邊 浩徳・・・（特非）みんなで豊川市をもちあげ隊
委員 乙部 法行・・・豊川市連区長会代表
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問
委員 神藤 晴日・・・一般公募市民
委員 佐原 圭子・・・豊川商工会議所総務課長
副会長 森下 保・・・豊川市市民部長
委員 竹尾 祐三子・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
- 4 事務局 市民部次長兼市民協働国際課長、課長補佐、市民協働係長、係員
- 5 傍聴は新型コロナウイルス感染拡大防止により未実施
- 6 議事概要
 - (1) 挨拶
 - (2) 委員の委嘱及び任命、各委員及び事務局の自己紹介
 - (3) 会長、副会長の選出
会長・・・神谷典江委員を選出
副会長・・・会長が森下保委員を指名
 - (4) 議題
 - ①「令和2年度豊川市市民協働推進事業補助金 追加募集分のプレゼンテーション」について

【事務局】

本年度の豊川市市民協働推進事業補助金については、すでに8団体の事業が採択されているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、萩町内会の「萩町内会三世代交流事業」が、シャルダンリラ夏祭りの中止により事業を縮小している。また、桜木小学校校区会の「地域合同防災訓練」、中部町内会、佐奈川町内会、源才町内会の3町内会の「三町合同盆踊り大会」、豊川少年少女合唱団の「子供と音楽と癒しのコラボで老人ホームを元気に！」の3団体については、事業が中止となり、申請が取り下げられたため、ここで報告する。それに伴い、補助金の残りが48万3千円となっている。

そこで、追加募集を行ったところ、蔵子二区町内会と千両連区の2つの団体から企画書の提出があり、本委員会では審査していただく。

【蔵子二区町内会】

私たちの町内では、防災訓練のマンネリ化の解消、地域の防災力の向上を図りたいと考えている。そこで、地域住民、そして子どもたちが参加して、防災について考える機会を作るため、地域の防災力の向上を図る「防災フェスティバル」を企画した。私たちの町内には、香月堂やトヨタカローラ、東愛知日産といった企業がすぐ近くにあり、以前から町内会として何か交流ができればと思っていた。今回、協働相手として、3社に相談したところ、快く協力してくださり、それぞれの企業が持つ技術やノウハウを地元の町内会のために発揮してくれることとなった。また、本来であれば、市の指定避難所である地元小学校での開催を考えていたが、町内の中で「地元公園での開催が良いのではないか」といった意見があったため、断念した。

まず、香月堂からは、手洗いの指導を行っていただく。これは、昨今流行している新型コロナウイルス感染拡大防止に関するもので、日常生活での手洗いの習慣化に活かされると思う。また、実際に災害が起こった時でも、新型コロナウイルス感染症への対策をしっかりと行うことで、避難所等での感染拡大を防止することができる。

次の協働相手となるトヨタカローラ、東愛知日産からは、電気自動車による給電サポートの体験ブースを設けていただく。当日は、参加者の方に携帯電話の充電等の充電サポートを体験してもらうことを考えている。これらを体験することで、実際に災害が起こった時でも、電源の確保について、電気自動車等でも充電が行えることを参加者に伝えることができる。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、三密にならないよう、大人と子どもに分かれ、分散した形で訓練を行う予定である。

第1班は、子どもを中心とした防災活動訓練である。従来 of 防災訓練で行ってきた水消火器やバケツリレーによる初期消火のほかに、香月堂による手洗いの実践指導を行っていただく。

第2班は、区議員や組長を中心とした防災機器の活用訓練である。簡易トイレの設置や段ボールベットの組み立て、応急担架による搬送、心肺蘇生法やAEDの使い方訓練を行う。そのほかに、なます号による地震体験コーナーや、トヨタカローラと東愛知日産による携帯電話の給電サポート体験ブースの設置を考えている。

これだけの内容を自分たちの町内会だけで行うことは難しく、この防災フェスティバルは、協働だからこそ実現できるものである。ぜひ、このイベントを通して地域住民の絆を深め、住民と子どもたちが楽しみながら防災について学べる機会を作りたいと考えている。

【事務局】

審査員の方々、何か意見やご質問はあるか。

【委員】

新型コロナウイルス感染症が流行しているなかで、非常に大変だと思うがぜひ、頑張ってもらいたい。こうしたイベントの開催は、近隣の町内にとっても勇気づけられる。また、イベントの情報が、近隣の町内に伝わることで、このコロナ渦の中でも活動ができることを学ぶことができるし、もし仮に開催できないとしても、考える機会を与えてくれると思う。

【蔵子二区町内会】

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、炊き出しを断念したが、町内の中には「炊き出しを行わないならば防災訓練自体もなくて良いのではないか」という声もあった。また、やはり小学校で行いたかったと思う。

【委員】

すばらしい計画で良いと思った。また、小学校で行えたら良かったと思う。マンホールトイレなどが設置してあるのを、みんなが目で見ると聞くのではだいぶ違う。また、今回は、3社の企業が協働相手となっているが、企業の方は、自分たちの収益を望んで協働をするわけではないが、イメージとして一緒に地域で根ざしている企業としてPRしたいという面もある。例えば、新聞社などに声かけを行い、取材してもらおうなど、情報発信の工夫をしてみるのはいかがでしょうか。

【事務局】

市の方でも、広く情報を発信できるようにサポートしていく。

【委員】

自分は豊川市市民活動広報リポーターとして登録しているが、今回の蔵子二区町内会の「防災フェスティバル」も取材したいと思った。

【事務局】

広報リポーターのスケジュールへ掲載する予定であるため、ぜひ取材をお願いします。

【事務局】

続いて、千両連区の「合同防災訓練」について発表をお願いする。

【千両連区】

千両連区では、児童と地域住民が巨大地震に対応するために必要な知識や技能、行動を身につけてもらったり、学校や地区市民館が避難所としての機能を果たすための準備を進め、地域の防災力の向上を図ることを目的に「合同防災訓練」を企画した。千両には、加山興業という企業があり、防災グッズも扱っていることから、加山興業にも相談しながら企画を進めており、今回のプレセッションでも加山興業の社員の方に来ていただいている。

また、今回の企画の協働相手は、千両小学校と千両消防団となる。

千両小学校の役割として、体育館場所の提供、職員の配置、備品の準備、貸出を行っていただく。これにより、合同防災訓練の開催場所を小学校の体育館とすることができる。また、当日は多くの小学生にも訓練に参加してもらい、災害時に必要な知識や行動について学ぶ機会を作ること考えている。

千両消防団からは水消火器の使用方法について指導してもらう。

そのほかにも、当日は、連区として、段ボールの間仕切りを組み立てたり、断熱材を敷くなどして、実際に避難所の設営を行ったり、簡易トイレを設置する訓練を実施する予定である。

今後の展望として、この防災訓練を継続して連区で行うことで連区の結束力を高め、地域に住む定住外国人世帯も含めた防災に強い地域づくりを目指したいと考えている。

また、今後も、小学校と一緒に継続した訓練活動を実施することで、地域の子どもたちに災害時に必要な技能や行動を身に付けてもらったり、有事の際に、適切に対応できる体制を整えたいと思っている。

【事務局】

審査員の方々、何か意見やご質問はあるか。

【委員】

開催日程などは決まっているか。

【千両連区】

夏休み後、学校が始まった1週目もしくは2週目を目途に、学校と調整をし

ている。また、当日は千両小学校の5年生24名を主体として訓練を実施することを計画している。

【委員】

千両連区には、外国の方の世帯もあり、今後もそうした方々を含めた防災訓練を毎年継続して実施していただけるのか。

【千両連区】

継続して実施する予定である。千両小学校でも多くの外国人の児童がいると聞いている。そうした方々にも、こうした防災訓練があることを、下西ノ谷町内会の方々に周知していただいております、特に子どもたちに参加してもらえようをお願いしている。また、子どもと一緒に親世代も参加してほしいと考えている。

【委員】

避難所に皆が集まるとソーシャルディスタンスにならないと言われており、今は自分の家で災害に強い体制を築く必要もある。自分たちが防災に備える術などの内容も今回の防災訓練には盛り込まれているか。

【千両連区】

千両では、山崩れの危険性などもある。今年の7月にも何か所か山崩れがあり、岡崎に抜ける道も通行止めとなった。そのため、一番避難してくるのは、少人数の家である。家でも防災に備える必要があるが、山崩れが起きた場合の避難所として、そうした方々や地域の子どもたちに対して、避難すべき場所は、千両小学校であることを今回の防災訓練で伝えたいと考えている。

【委員】

今日、加山興業の社員の方が来てくださっているが、協働相手の中に入っていない。自分は、加山工業の中に入らせてもらったことがあるが、防災グッズについて、だいぶ研究をされていると感じた。協働相手にはならなくとも、大いに協力していただいたことを何か実績として出せると良いと思う。

【千両連区】

今回、加山興業の方々には、大いに協力してもらっており、感謝している。

審査終了後

【事務局】

審査の結果、蔵子二区町内会の「防災フェスティバル」については、30点満点中、全体の平均点が25.88点、市として高い基準としている協働性の評価については、5点満点中、4.33点、千両連区の「合同防災訓練」については、30点満点中、全体の平均点が23.66点、市として高い基準としている協働性の評価については、5点満点中、3.77点、となっており、どちらの事業も高い評価点となっているため、今回の事業は採択となる。

また、今回2事業が採択されたことで、市民協働推進事業補助金の残金は16万3千円となる。引き続き事業の募集を行っていきたいと考えているため、応募があれば、また委員の皆様にも評価していただきたい。

② 「とよかわ市民協働推進計画」における令和元年度実施施策の評価

【事務局】

とよかわ市民協働推進計画では、「地域と行政がしっかりとささえているまち」の目標を実現するため、4つの基本方針を定め、9つの実施施策、45事業（再掲4事業を含む）を展開しており、計画全体の指標1つと実施施策ごとの指標14の併せて15の目標指標を定めている。評価の方法は、実施施策ごとに目標達成度や効果などを客観的に評価して、9つの実施施策ごとに5段階で評価点をつけて欲しい。

③ その他

【事務局】

「とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書」における評価書については、委員の皆さまに提出していただいた後、事務局で皆さまの意見を取りまとめた「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書」、「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果」を作成する。

取りまとめた評価結果等を委員の皆様にご確認いただき、特に再度協議する必要がない場合には、委員会を開催せず書面でのやりとりでまとめさせていただきます。